

所 属 : 北海道大学附属図書館学術システム課
 職 名 : 事務職員
 氏 名 : 紙谷 五月

下記の通り報告いたします。

期 間	平成 20 年 9 月 20 日 ~ 平成 20 年 9 月 28 日
出 張 目 的	(1) International Conference on Dublin Core and Metadata Applications (DC2008) 参加 (2) DOI 技術情報調査
用 務 先	(1) フンボルト大学 : ベルリン【ドイツ】 (2) ドイツ国立科学技術図書館 : ハノーファー【ドイツ】
用 務	(1) AIRway の活動紹介 (ポスター発表) 及び、メタデータの動向についての情報を収集 (2) 機関リポジトリ上で電子ジャーナルとして公開されている紀要への DOI 付与を視野に、DOI の登録に関する技術情報を収集
出 張 内 容	<p>(1) DC2008 参加</p> <p>◆ 会議概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程 : 平成 20 年 9 月 22 日 (月) ~ 26 日 (金) ・ 主催 : Competence Centre for Interoperable Metadata (KIM) Max Planck Digital Library (MPDL) Göttingen State and University Library (SUB) German National Library (DNB) Humboldt Universität zu Berlin (HU Berlin) Dublin Core Metadata Initiative <p>後援 : Wikimedia Deutschland</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各国から研究者、技術者、図書館員、企業関係者など 300 名前後が参加した。このうち日本からの参加者は、研究者、図書館員、企業関係者の 7 名であった。 <p>会議の全日程のうち、24 日に開催されたポスターセッションに出展するとともに、22 日~24 日および 26 日の会議に参加し、発表等を聴講した。</p> <p>◆ ポスター発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題名 : junii2 and AIRway - an application profile for scholarly works and its application for link resolvers ・ 著者 : 堀越邦恵、野中雄司、紙谷五月、杉田茂樹 (以上、北海道大学)、阿蘇氏治夫、杉田いづみ (以上、NII) ・ URL : http://dc2008.de/wp-content/uploads/2008/10/08_kunie_poster.pdf ・ junii2 の概要とその応用事例としての AIRway について、ポスターを掲示して解説するとともに、AIRway のスキーマについての資料とポスターの縮刷を配布した。掲示・解説に先駆けて、概略の口頭発表を行った。IR 担当者、図書館員、プログラマー (リゾルバ担当) などから、junii2 の詳細や AIRway の仕組み、利用傾向などについての質問があった。 <p>◆ 聴講した発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DCMI Tutorials

出張内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者 : Jane Greenberg (University of North Carolina at Chapel Hill) ほか ・ Dublin Core の歴史と概要、コンセプト、他のメタデータとの関係、実装例についての解説 ● Full-Paper Plenary Session 3: Metadata Generation: Methods, Profiles, and Models ・ Achievement Standards Network (ASN): An Application Profile for Mapping K-12 Educational Resources to Achievement Standards <ul style="list-style-type: none"> ・ 著者 : Stuart A. Sutton (University of Washington)、Diny Golder (JES & Co) ・ 幼稚園児から高校 3 年生までの児童・生徒の教育と学習を支援するための米国のリポジトリである ASN の応用プロファイルの開発についての報告 ● Project Report Session 2: Metadata Scheme Design, Application, and Use ・ The Dryad Data Repository: A Singapore Framework Metadata Architecture in a DSpace Environment" <ul style="list-style-type: none"> ・ 著者 : Hollie C. White (University of North Carolina at Chapel Hill)ほか ・ 進化生物学分野のデータ・リポジトリである Dryad の応用プロファイルの開発についての報告 ● Workshop 9: DCMI Scholar Session ・ 座長 : Julie Allison (University of York)、Rosemary Russell (UKOLN, University of Barth) ・ 学術文献について記述するための応用プロファイルである SWAP (Scholarly Works Application Profile) と、関係するいくつかの応用プロファイルについての概要や現状の概説、討議 <p>上記の他、いくつかの発表等を聴講した。</p> <p>(2) DOI 技術情報調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程 : 9 月 25 日 (木) ・ DOI の登録仲介機関 (Registration Agency: RA) であるドイツ国立科学技術図書館 (TIB) を訪問した。DOI-Registration の Jan Brase 氏、Deputy Director の Irina Sens 氏から、TIB の RA としての活動方針や DOI の登録方法の詳細について何うとともに、将来的な相互協力の可能性について、意見を交換した。
出張成果	<p>(1) DC2008</p> <p>海外の関係者に日本の junii2 と AIRway を紹介し、その存在を知らしめることができた。また、各発表等を通じ、世界中の様々な応用プロファイルとその適用事例についての知見を得ることができた。</p> <p>(2) DOI 技術情報調査</p> <p>DOI にまつわる技術的、政策的な情報を得ることができた。また、意見交換を通じ、将来の相互協力の足がかりを築くことができた。</p> <p>◆ 成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2008 年 9 月ドイツ調査報告 (口頭発表) 第 2 回 DRF 企画委員会、2008 年 9 月 30 日、東京工業大学 ・ 学術情報のさらなる流通と可視性の向上を求めて : DC2008 ポスター出展と TIB 訪問について 榆蔭 : 北海道大学附属図書館報、第 130 号、2008 年 11 月、pp.21-23 http://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/yuin130.pdf

【注】 ◇ 会議、学会等に出席の場合は、講演、座長などの役割、会議概要などを明記する。

- ◇ 聴講のみの場合には、会議における研究動向、企業や大学の動向、注目すべき発表、日本からの参加者など、会議内容に関する、より詳細な内容を記入する（スペースが足りない場合は、適宜、ページを追加）。